



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和元年 7月19日
 養父市立大屋中学校
 学校だより 第6号
 TEL 079-669-0111

今日は一学期の終業式

但馬総体が終わりました。

13・14日の2日間にわたり、ソフトテニス部、女子バレーボール部、卓球部の試合会場を巡り、本校の生徒を応援しました。

| ソフトテニス部 | 女子バレーボール部 | 卓球部 |
|--|---|------------------------------------|
| 団体戦 大屋中 対 豊岡北中 0 - 3 個人戦 古川・松田ペア 北尾・土居ペア とともに1回戦を勝ち、 2回戦 惜敗 | 第1回戦 養父中 対 大屋中 2 - 0 手に汗握る展開 ながら惜敗 | 団体戦 第5位 個人戦 栗田晋吾 第5位入賞 *県大会へ |

どの会場に行っても、まず驚いたのは、本校の生徒の声が響いていることでした。プレイしながらしっかりと声を出してガッツポーズをしたり、呼びかけ、励まし合ったり、互いにタッチしたりする姿、コートの外では仲間が大きな声で応援している姿がありました。会場に入ると、どこに本校の生徒がいるのかすぐに分かるほどでした。春のオープン戦では見られなかったその姿に、胸が熱くなると同時に、応援にも自然と力が入り、汗びっしょりになりました。

声がしっかりと出せることは、自分を鼓舞したり、周りの志気を高めたり、考えを素早く的確に伝えたりする上で大切な要素であると思います。表情も生き生きとしてきます。もちろんそのことはプレイにも好影響を与えることでしょう。

この2ヶ月あまりでの成長は、ひとえに3年生のリーダーシップによるところが大きく、3年生にはそれなりに苦労もあり、悩むこともあったかと思います。でも、「やり遂げた」「やり切った」という今の達成感、自らをさらに大きくすることでしょう。3年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、3年生の動きにしっかりと応えてチーム力を高めてくれた1・2年生にも感謝です。ありがとう！先輩の良さをしっかりと引き継ぎながら、一人一人の力が存分に発揮できるチームづくりに励んでください。さあ、また新しいスタートです。

【今学期の表彰】

- 但馬中学校陸上競技大会（但馬中学校総体） 跳躍（女子 共通） 小畑美波 第5位
- おおよスポーツセンター杯卓球大会 一般の部 Aクラス 河邊聖樹 優勝
- 養父市中学校女子バレーボール大会 バレーボール部 第3位
- 兵庫県小中学生書写コンクール但馬大会 入選
 上垣咲季、小畑美波、田村心愛、上垣菜春、土居美月
- 兵庫県小中学生書写コンクール 佳作 衣川來夢

40日分の「自分越え」を期待しています！

さあ、40日間の夏休みが始まります。長いように思っても、8月に入るとあっという間にお盆を迎え、8月29日には2学期の始業式です。

どう過ごすかは自分自身に任されています。何をいつ、どこで、どのようにするのかを、①自分で決めること、②決めたことを着実に実行すること、③実行している状況を確認すること、④さらにうまく継続できるように見直すこと、この①～④を繰り返しながら自分自身を高めていく力が「自己指導力」であり、大人になっても大切な力です。そのためには、まず「自分で決めること」が必要です。これがないと次の②～④が続きませんから。

自己指導力は、すぐに身につくものではなく、トレーニングが必要です。大人になっても必要なトレーニングです。宿題のこと、部活動のこと、進学に向けた自主学習など、気になることも多い夏休みです。時々、怠けたくなったり、投げ出したくなったりすることもあるかもしれません。そんな時こそ「自己指導力」という言葉を思い出し、「トレーニング中なんだ」と言い聞かせて、少しずつ自律に向けて気持ちを前向きに切りかえながら生活してくれることを願っています。もしかして、池田草庵先生の言われた「慎独（しんどく）」という姿勢は、こうした日々のトレーニングのことではないかと思います。

2学期の始業式に、さらによいスタートができるよう、自己指導力のトレーニングにより「昨日の自分を越え」ながら、しっかりと40日分の「自分越え」をしてきてくれることを大いに期待しています。

林業教室の実施

7月12日(金)の午後、養父市森林組合との連携による「林業教室」を実施しました。

本校として初の試みで、森林組合の普段の仕事について、森林保全の意義についてなどの話をうかがうとともに、北校舎と南校舎をつなぐ渡り廊下の脇（テニスコート側）にあるヒマラヤスギ(?)の高木を使った伐採作業の実演もしていただき、初めて見るその作業手順や果敢な作業ぶりに驚かされました。

事後、「森林を守る正義のヒーローのように思えた。」「林業の仕事がとても身近に感じられた。」「今回の学習で林業にかかわる仕事もいいなと思った。」といった感想が聞かれました。

この度の実演で使った高木は、現大屋小学校の上垣校長先生が中学生の時に、すでに立っていたそうです。年輪を見ると、樹齢50年はあるようです。この木に敬意を表するとともに、私たちの学習に活用させていただいたことに深く感謝しています。



校舎の屋上よりも高く



枝を払う作業